京城日報
十二月廿九日(金)
夕刊
編輯兼發行人 小川三之助　印刷人 吉島治
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社

三巴 京城三巴酒造合資會社

けふ御命名の御儀

御尊名を『明仁（アキヒト）』 御稱號を『繼宮（ツグノミヤ）』

"日嗣の皇子の御幸を"と 大御心から勅定遊ばさる

【東京電話】仰げば尊き日嗣の皇子の御降誕に、歡天慶地併に光明を拜して九千萬國民齊しく千萬無彊の御慶を壽ぎ奉るうちに、皇太子殿下には早くも廿九日を以て御降誕第七日の佳辰を迎へさせ給ひ、御肥立彌が上にも芽出度く御健やかに渉らせられる、この日宮中大奥においては陸海軍の皇禮砲殷々と轟き全國津々浦々に再び起る歡呼の中に、午前十一時いとも嚴肅に御命名の御儀を執り行はせられ畏くも 御父陛下には御身位貴き皇太子殿下の限りなき御幸を御祈念あらせられ大御心を籠めさせられて御尊名を『明仁』、御稱號を『繼宮』と親しく勅定遊ばされ芽出度く御命名あらせられた、これより先き午前九時より大奧では床しくも古雅の限りをつくして晴れの御産湯の儀を行はせられ、又御命名と同時刻、宮中賢所皇靈殿、神殿におかせられては御命名奉告の儀を行はせられ、彌が上にも輝やかしき御尊名御稱號を皇祖皇宗を始め奉り、天神地祇に御奉告せしめられ御先々の御幸を御祈願せしめられた

御墨痕も鮮かに 嚴かな御命名の御儀

【東京電話】皇太子殿下に輝やかしくも 御父陛下が幸多かれと勅定あらせられた御尊名御稱號を賜はる御命名の儀は、この日午前十一時宮中においていとも嚴かに執り行はせられた、これより先き午前十時牛栗ある勅使の大役を仰付けられた鈴木侍從長は小禮服に儀容を正し、奧宮殿、表御座所間に参入し同五十分に至れば、湯淺宮相は旨を承け大高檀紙二つ折りに御父陛下が畏くもおん墨あと鮮やかに御認めあらせられた御尊號の皇太子殿下御名記御稱號を謹んで蒔繪の筥に入れ、さらに柳筥に納め奉り、紫花御紋章を白抜きにしたおふくさに包み参らせ、これを勅使に授け、勅使は恭しく柳筥を[illegible]

歡喜のるつぼ

けふの佳辰に朝鮮神宮廣場で 京城府主催の奉祝式

明け歡呼！溢け萬歲！半島二千萬同胞奉祝の一絲亂れぬ京城府主催親王殿下御降誕奉祝式は廿九日午前十一時より朝鮮神宮廣場で開催紅白の幕を張りめぐらした會場内中央高く、日の丸の國旗に交叉してアリナレの流れは白く蜿蜒と流れ萬國旗がへんぽんとして風にひらめき、師走に珍らしく晴れ渡つた碧空の下に、朝もやをついて浮き出る大京城はさながら赤誠のるつぼの如く、奉祝の國旗が波立ち、て、流す帆船に小さな日の丸の旗のはためきが織るが如き神宮參拜者の目がしらを熱くさせる、かくて宇垣總督、今井田政務總監、山田城大總長、笠井法務、井上遞信其他各局長、松本京畿道知事始め千六百名の官民田席、神宮拜殿に次で國歌を合唱、伊達京城府尹から開式の如く奉祝の辭を述べて、奉祝歌に移り宇垣總督の發聲につづいて、天皇、皇后兩陛下 皇太子殿下の萬歲を三唱、五彩のテープをつけて放たれた奉祝鳩の姿が空の彼方に消えさる頃、湧然たる樂の音と共に場はいよ〳〵歡呼に溢つて酣になつた、この頃いち早くも會場内に皇太子殿下が「繼宮明仁親王殿下」と御命名の報が傳はるや、期せずして萬歲の聲は湧き起り、南山一帶萬歲に包まれて同十一時半閉會した

御降誕奉告祭

朝鮮神宮と京城神社で

◇皇太子殿下御降誕奉告祭は廿九日午前十時より瑞祥の氣漲り神域殊更に森嚴の氣を加へた朝鮮神宮社前に於て執行、宇垣總督、今井田總監初め本府各局課長、松本京畿道知事、伊達京城府尹其他二百餘名參列、阿知和神宮宮司の修祓に次で總督、總監の玉串奉奠あり崇嚴裡に午前十時終了、次で奉祝祭に移つた
◇京城府主催の皇太子殿下御降誕奉告祭は二十九日午前九時から京城神社に於て嚴かに執行された、宇垣總督以下官民有力者、京城教化團體、在郷軍人會、聯合青年團など數百名參列し九時二十分閉式した

けふの感激

（寫眞說明）上は朝鮮神宮大前の御降誕奉告祭、下は同廣場の京城府主催奉祝會と宇垣總督の萬歲發唱

伊達府尹奉祝の辭

時維昭和八年十二月二十三日午前六時三十九分瑞氣東天に漲り旭日四海を照らし、紫雲宮城を罩め金雞曉天に鳴くと共に億兆の仰望し奉る天津日嗣の皇子御降誕あらせらる、皇室の御榮盛々茲く國體益々榮きを加ふ、邦家の洪慶之に如くものなし
天皇 皇后兩陛下亜皇太后陛下の御滿足御慶び仰ぎ奉るだに畏く、下萬民の歡喜踴躍ふるにものなし、伏して以みるに大日本帝國は皇祖肇國以來皇統連綿として一系三千載、歷聖相繼ぎ相承け義は君臣にして、情は父子の如き、皇道樂土を東洋の一角に築み、萬古不變の邁澤天下に洽く、萬民各其の堵に安んじ其職に勵み、和平康寧の裡に共生を遂げつゝある所以のものは、至仁至徳天皇と共に窮りなき天津日嗣の御榮によらずんばあらず時方に建國の大精神を顯揚し國威の宣揚と國運の伸張に邁進せむとするの秋、畏くも親王殿下の御降誕を拜し奉るは國運隆昌の瑞祥にして、九千萬同胞の齊しく非常な歡喜する能はざる所なり
茲に本日の御命名式に方り、京城府民相會し謹みて皇儲殿下御生誕奉祝の赤誠を披瀝し、恭しく聖壽の無窮と皇運の御隆昌を祈り奉る

謹みて御名を按ず

その典據を聖詔に取らせ給ふ

湯淺宮相の謹話

【東京電話】皇太子殿下御命名の御儀は廿九日宮中にて嚴かに執り行はれました、謹みて按ずるに御名を明仁と申上げ、御稱號を繼宮と申上げるとに御治定相成りたることにつきましては、その典據を明治三年正月三日發詔せられたる聖詔に取らせられたものと拜察致します 聖詔の首章に
朕恭惟 天神 天祖立極垂統列皇相承、繼之述之祭政一致、億兆同心治教明于上、風俗美于下
と仰せられたる中に之を繼ぐとある、繼の字と又末章に
宜明治教以宣揚惟神之大道也
と仰せられたる中に明治教とある明の字に基づかれたものと拜察し奉る次第であります、なほ又周易の離の卦に
明兩作大人以繼明照于四方
とありますが、この意味は離の卦の象即ち意義に二つの日ありて之を人事に引當て申しますと聖明の天子の儲宮聖明の皇太子御在しまして父帝の聖明を承繼がせ天下を知食すといふことになりまして、御名前に御稱號の繼、明の文字はこの語に基かせられたものと拜察致します、御名前に御稱號は洵に美ましく我國體と茂しく我國風とに能く相應しく、殊に天津日嗣の宮殿下の御降誕は恰も二十三日の朝まだき朝日の豐榮昇る頃ほひなりしのみならず、今日御命名の御儀も所謂日本晴れの好日和にして一天雲翳なく麗日笑み映えして隆々春の如き中に執り行はせられたことは羲明照于四方の語に符合致しまして、日嗣の皇子宮殿下の御前途を祝ぎ奉り、天津高御座の彌遠久に彌遠久に榮えまさんことを豫祝する瑞祥と仰ぎ奉る次第であります

宮内省告示

宮内省告示第三十三號
本月二十三日午前六時三十九分御誕生アラセラレタル 親王ノ御名ハ明仁ト命セラレ繼宮ト稱セラル
昭和八年十二月二十九日　宮内大臣 湯淺倉平

【東京電話】皇太子殿下の御名、御稱號は二十九日午前十一時宮内省告示第三十三號を以て左の如く發表された

古式も床しき御浴湯の儀

"文武の御運長久に"と 平安の昔を偲ばす讀書鳴弦

【東京電話】皇太子殿下にはこの日皇室親族令中誕生の式に定め給ふところによらせられ、御命名の御儀に先立つて午前九時より古式床しく晴れの御産湯を召させられる御浴湯の儀を執り行はせられた御浴殿に當てられた皇宮宮の一方には檜の香りも新しき白木の御浴槽に御湯湯がなみなみとたゝへられ、御静かな御室に湯氣は白々と立ち上る中に、拝殿の裝も雅かに小倉御衣が召されまするまるで玉の如く御肥立の皇太子殿下を御抱き參らせた竹屋女官以下奉仕の下に晴れの御産湯を奉つた、この時清澄を極めた闇に御室に御簾を撤てゝこの晴れの御儀に奉仕を仰付けられた光榮の諸役の讀書東大名譽教授市村瓚次郎博士、同讀書東大教授辻善之助博士は衣冠、裝束に眉を拵し鳴弦の明治神宮々司有馬良橘大將、宇佐美子爵の兩氏、同細川立興氏は、衣冠束帶にて矢を納めた箆を背び右手には大弓を取つて候し、御浴湯はじめさせ給ふや、まづ市村瓚次郎博士は巻を繙き、朗々高々と、古典中最もめでたき一條を拜讀し奉り、鳴弦の諸氏「オー」と和唱し弓を引き絞つて弓弦をひようとばかりに放つて、一歩引き、勇ましき鳴弦の儀は三度繰返され、斯くて讀書鳴弦、文武の御運御隆盛の意をこめた床しくも雅びやかな御儀は九時四十分頃終へさせられた

御命名奉告の御儀

【東京電話】御命名と同時刻宮中賢所皇靈殿神殿におかせられてはいとも嚴かなる中に御命名奉告の御儀を行はせられ、皇太子殿下御先々の彌が上にも御隆昌を御祈願せられた

擁して直ちに皇后の本宮に參進待ち受けてゐた廣幡皇后宮大夫はこれを拜受してさらに林從奏の竹屋女官長に授け、女官長は皇子宮に參進し、午前十一時三分これを奉つて皇太子殿下の御枕邊に奉り御儀はこゝに芽出度く終へさせられ、侍從長は直ちにこの旨を陛下に復命申上げた

聖上いと御滿悅

文武官陸續參內し 御慶びを申上ぐ

【東京電話】大内山はめでたき奉祝の賀にひたる中に皇太子殿下の御命名があり、歡喜に醉ふた宮城の杜をめざし、坂下門から午前十一時半頃より宮中では陸海軍大將親任官親補職の勅任官以上の文武官に對し賢所に御神酒、す、るめ等の前例なき賜饌あつたので、續々と參内、親任官總代は午後に至つて親補職、勅任官以上の有爵者總代の兩代表さまでが參内した、宮中顧問官始め、親任待遇者は自動車、徒步で陸續として東御車寄で御慶びを奏しく赤誠籠めて御記帳申上げ御滿悅の有難さと慶祝を園と共に

せしめられた、この日賢所にては三條宮典長、立花宮典次長以下奉仕して早朝より裝飾し、午前十時三十分莊重な神樂歌の中に御扉は開かれ、御神饌を供し奉つた、これよりさき式部官が宮殿から捧持した御名記御稱號の御書は立花宮典次長がうやうやしく宮殿に參入、奉典長は恭しく皇太子殿下の御名御命名の由を御祝詞の中に奏し奉り、終つて再び奏せられる御樂の中に撤饌、閉扉、こゝに御命名御奉告の儀は御滯りなく終へさせられた

遊ばされる恩召にいたく恐懼したこの日 皇后陛下には御平常の如く御産室に御静養遊ばされ天皇陛下には玉歩を御産室に運ばせ給ひ、御慰めの御言葉と御祝詞を賜はつた 皇太子殿下には御浴湯の御後とてすやすやと皇子室のベッドに御寢みの御由にてこの一瞬間には御可愛さ一入に拜される
と承はる、斯くて午前十一時半宮内官代表湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄侍從武官長、廣幡皇后宮大夫佐藤侍醫頭等夫々拜謁を賜はつた上、御慶祝を言上申上げた、正午天皇陛下には秩父宮、順宮の兩内親王殿下と御宴ぎに御祝膳につかせられた、ただ葉山に御靜養中の照宮様には遙々御使を派せられ、午餐の御料理を御届け遊ばされたと承はる、なほ午後一時半秩父宮同妃兩殿下初め、御服喪中の朝香宮殿下を除く各宮殿下からの御祝辭を受けさせられた、斯くてこの日宮中は終日御慶びにざわめいたと拜承する

御胞衣納めの御儀

【東京電話】御七夜の佳辰皇太子殿下の御胞衣納めの儀は午前七時より執り行はせられ、この儀を承はつた皇后宮事務官は御胞衣を納めまゐらせた、薬壜の御瓶を捧持して、宮城出門、赤坂離宮に到り南隅黒香宮のほとりの御埋納所に埋め奉り香も高き清土を盛り、さらに雅松を植まゐらせて午前七時半終らせられた、この一角には御父陛下の御胞衣をはじめ奉り、御姉宮各内親王殿下、御叔父宮秩父宮、高松宮、澄宮各殿下の御胞衣も納められてゐると承る

侠劍風來坊

【87】

國枝史郎作
佐々木格繪

心々の旅の人々（九）

それから漸く歸つた時、道分の宿の宿外れを、野の方へ行く女があつた。
星はあるが月の無い夜で、それに風さへ吹いてゐて、その風に雲が流れ、星をさへ隱す暗憺さ！
さういふ夜道を物に狂つたかのやうに、何か口の中で呟きながら走つたかと思ふと立止まり、立止まつたかと思ふと又走る。
それは他ならぬお妻であつた。
眠つてゐる間も慕しい女、澄江のことを忘れかね、うわ言に出して云つた主水――さういふ主水の心持を知り、怒と失望と嫉妬とにお妻は殆んど狂はんばかりとなりおのれ何うしてくれやうかと、殺伐の氣さへ起こしたのであつたが、
それは卑怯であり世間知らずでありなれてゐる彼女であつたので、まづ〳〵と心をおちつかせ、燃えるやうに上氣して痛む頭を、夜の風にでも吹かせてやらうと、其處は女貫禄で、宿をこつそり脱け出すことなど、雜作なく間違なく出來るので、宿をこつそり脫け出して、今かうやつて歩いてゐるのであつた。
さて冷え〳〵とした高原の、秋の夜の風に吹かれながら、お妻は步いてゐるのであるが、間違が間違であるだけに、心は穩かにはならなかつた。
（宿へ放火でもしてやらうか！）
（人殺しでもしてやらうか！）
そんなことさへ思ふのであつた。
街道から反れて草の露を散らしお妻は野の方へ歩いて行く。
と、街道を背後の方から木曾の納めの馬市へ出る、馬の群が濛々に塗頭されて、跣蹄と無數にやつて來た、徹夜をして先へ進むので あつた。
それらのともして行く提灯の火が、漸々と恰も星のやうに、道を明るめ動いてゐたが、珍しい美しい眺めであつた。
〽秋が來たぞで鹿さへ鳴くに、なぜに紅葉は色に出ぬ。
〽飾り米とはそりや情ない、尤も涙や尾張の涙米
などゝ唄ふ馬子唄の聲が、ノンビリとして聞えても來た。
しかしお妻にはさういふ光景も珍しくも美しくもなかつた。で、只夢中で歩いてゐた。
陣十郎が同じやうな心境の下に旅籠を出て野の方へやつて來たのは、恰度この頃のことであつた。
主水のことを思つてゐる澄江！
それを口へ出して云つた澄江！
さういふ澄江を夕方見た、おのれ、おのれどうしてくれやう！すんでに其時陣十郎は、澄江を手籠めにしやうとした。
が、それは辛うじて抑へた。
さて夜になつて二人は寢た。
部屋の片隅に澄江が寢、間の片隅に陣十郎が寢。――ずつと是迄やつて來たやうに、その夜もさうやつて二人は寢た。
が、陣十郎は眠られなかつた。
怒、失望、嫉妬の感情が、心を亢ぶらせ頭を燃やし、安眠させやうとしないのである。
見れば澄江も眠られないと見えて、さうして恐怖に襲はれてゐると見えて、此方へ細い頸足を見せ深々と夜具にくるまつたまま、溜息を吐いたり顫へたりして、夜具の中で蠢めいてゐた。
（一思ひに思ひを遂げてやらうか！）
この考へが又浮かんだが、あさましくも恐れにも思はれて、斷行することが出來なかつた。
（夜の風にでも吹かれて來やう）で、こつそり宿を脫け出したのである。

皇太子殿下御降誕を祝し奉る
專賣特許調味料 パプリカ
製造元 京城 今村洋行

萬歳の聲ゆらぎ　歡喜はうづまく

彌榮えを壽ぎまつる　感激と興奮の渦巻き

四温の陽光ふりそゝぐけふの佳き日　大京城にたぎる旗、人の波

天津日嗣の皇御命名式の月、全國津々浦々の民草が天壌無窮を壽ぐ皇紀二五九三年の暮二十九日、殷賑にして、しかも讃ふべき日は明れ渡り

瑞氣 天地に充ち、神域南山の中腹には瑞雲たなびき天上の彌榮えを壽ぎ奉る如くであつた、この佳き日、四十萬京城府民は年の瀬を忘れ、街々に飜る日の丸の國旗が氾濫し殷賑は四温の風にかすかに揺れ正月を飾る七五三繩は商都と殷賑な氣分を加へ朝まだきより打ち上げる奉祝の煙花は全市に轟き渡つて府民への慶祝氣分に拍車をかけ、溢れ出づる感激と

奉祝 の嵐は全市に漲び師走の街は、人、人の足波だ、店々は日の丸の旗と奉祝を大書して強い力を表徴し歳末賣出しに更に色彩づけ本町通りは君が代マーチと頌歌と行進曲の混成オーケストラだ、午後一時武心をこめて打ち振る二萬の小學生女學生の旗の波が全市に怒濤の如くなだれ出る、全市の奉祝氣分は高潮し

感激 と興奮のるつぼと化して行く

繰り出した　廿數町の旗行列　神宮廣場を埋む

皇太子殿下御命名式の廿九日は天も國民の

熱誠 に嘉賞を惠み絶好の奉祝日和である、午後一時府内の官民私立初中等學校並に女子中等學校生徒一萬三千は手に〳〵日の丸の國旗を振り翳し朝鮮神宮廣場に集まつて來る、さしもに廣い大廣場も旗の波だ歡聲のどよめきだやがて小學生、普通學校、女學校の順で大前に參進し脫帽に修祓があり總代の玉串奉奠に國歌合唱、萬歳三唱に式を終へ行進を起し東參道から京城神社に到り參拜をなしそれから倭城臺に出で日ノ出町大和町を通つて若草町大通りを黄金町から左折して安國洞を拔け

總督 府に出でこゝで萬歳を唱へ府廳前で萬歳を三唱しその後は各自校で解散したが、旗の波は鍾路二十數町に及び全市は旗の洪水であつた

花束を獻上　外交團の奉祝

【東京電話】皇太子殿下御命名の儀に際し在京外交團では我皇室の彌榮を心から奉祝し皇居陛下に美しい花束を獻上することゝなり、廿九日午前十一時宮内省式部職山縣外事課長を經て獻上の手續きをとつた

隅から隅まで　奉祝氣分　チゲに飜る日の丸旗

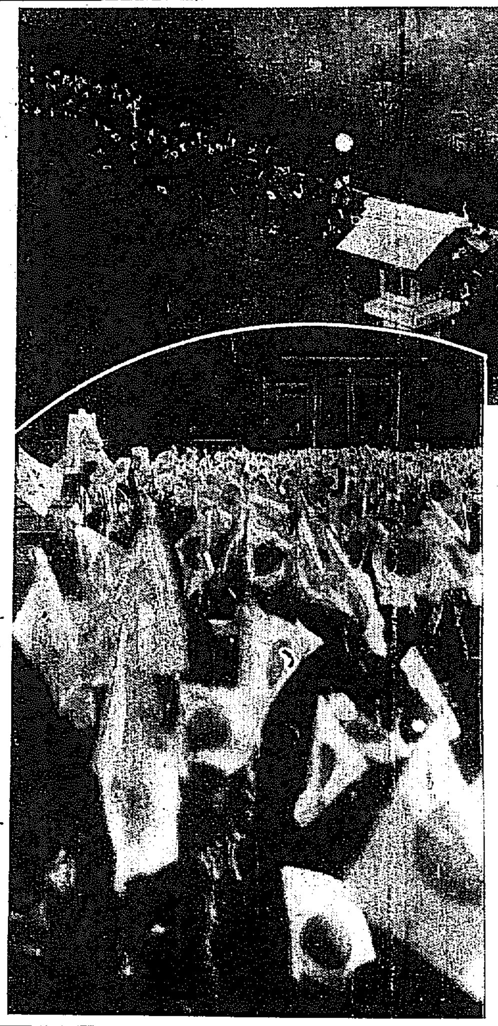
◇……きのふの雨にひきかへて、けふ晴れの御命名式の二十九日は街も人も唯奉祝に燃えさかつた大京城だ、鮮の本町筋はいふもおろか、鮮銀前廣場を交錯する人波をわけて通る人力車、自動車、荷車も奉祝の日の丸をかざしてゆく、やがて花電車が來れば、ワッとわく歡聲だ

◇……京城驛では、チゲ君が荷の重さも忘れ奉祝旗を飜へして拍手に送られながら悠々と出かける、道ゆく人は誰一人りとして微笑をおくらぬものがない、大空のひろごりのそれの如く樹かり、几つ深く浸透してゆく奉祝氣分ではある

◇……安國洞、仁寺洞、公平洞などの戸毎に國旗を掲げてゐたが公平洞は、手製の旗が立てられてゐた

◇……鍾路、本町、明治町、永登町、西大門通り等には、期せずして『奉祝賣出し』の立看板が現出、飛装賣出しと双曲線を描いて大景氣だ

メガネは中村　京城本町一丁目



説明　写眞は旗の波（朝鮮神宮表參道（下）廣場にあがる萬歳の聲

旗の波と萬歳!!　大帝都の喜び

海―祝砲轟き、空―飛機亂舞　奉祝音樂隊の大行進

【東京電話】日嗣皇子の御誕生遊ばされて早くも御七日滿ちて御命名式の今二十九日、昨夕さつと清めの雨が降つたかと思ふと今日はまた何んと上々の快晴だ、文字通りの日本晴れ、皇太子御降誕奉祝日和だ、帝都は隅の隅まで

光榮の輝き に滿ち〳〵て全日本の歡喜の縮圖とも云ふべきこの奉祝の素晴しさ、この國民的大奉祝の表徴は如何なる言葉も餘りに貧弱過ぎるやうだ、唯々日出づる國に生を得たる民草九千萬が光榮と感激に結び合つた歡喜の奉祝だ、この日東京は全く縮りの東京と化した、三日前に迫り來た歳末の憂鬱と焦燥は跡方もなく解消して明朗そのものゝ日の丸の波また人の波、朗らかな萬歳の歡聲だ、前夜來奉祝待機の全市民は最早家の中にくすぶつて居はしない出るわ〳〵

二重橋廣場 は人の津浪が押し寄せ日の丸の旗波で塗り潰し絶え間なく湧き起るは萬歳の連呼だ、正午過ぎると諸學校の學生生徒や、青年團の旗行列が後から後へと續いて何時盡くるとも見えない、品川沖に堂々勇姿を現した島帝を旗艦とする三艦からの祝砲は天地も裂けよと殷々空を轟かし、三十餘機の民間飛行機は爆音高らかに奉祝の空中の大亂舞だ、かと思ふと六十餘臺の花電車は地上狹しとばかり歡喜をばら撒きつゝ市中を驅け廻る、日の丸の波が、萬歳の喊聲が、いとも明朗な儀音、歡喜の大坩堝だ、この中を都下廿餘の音樂隊を總動員した奉祝樂隊の奉祝行進は午後零時半上野から二重橋に向つてスタートを切つたが壯大な

行進の合奏 もやゝもすれば沿道の歡聲にかき消され昭和大通りを進行しつゝ歳末のデコレーションの銀座、日本橋、新宿其の他の盛り場も奉祝氣分に感情を爆發してゐる、御名御決定の號外がいやが上にも煽り立てる内から、ビルの中から、バスの中から萬歳々々と喊聲が起り感激は急テンポに高まつて來、市内二十四箇所の奉祝の催し場は割れかへるやうな混雜を呈し大東京がこのやうに笑つたのは曾ての御大典以來の記錄的な目出度さであつた

專門大店　ハキモノはイトウ　電本九六二

中等氷上競技　雨で延期さる

【日光電話】日光地方は兩三日來の雪が昨夜より雨に變り氣溫上昇したので細尾リングのコンデイシヨン惡く二十九日の全國中等學校氷上競技大會は延期さることゝなつた

小寺さん　一千圓を投出す

宮城府竹添町土木請負小寺忠行氏は二十九日皇太子殿下御命名式の佳き日を期し社會事業資として金一千圓を西大門署に宛て寄附した同氏は常に京城府に西部慈善の爲めにつくしてゐる篤行家である

知識を吹込んで　海寶引揚げ　白木澤さん乘出す

ゴールドラッシュの波に乘つて、一しきり海底の寶庫探檢が流行して、こゝもと海底沈沒の艦船引揚作業は一頓挫の形となつた。ところが中には世評に臆せず引揚げ計畫を進めてゐる者もあり、その成功と否とは今後の引揚げ作業の

運命 を左右するものと見られる。折柄、之まで深海作業潜水作業方面に二百數十種の發明でその名を知られた白木澤新太郎氏が、一面にはインチキ征伐、一面には一般人の深海作業認識不足を是正すべく、海軍少將千生伯爵、工學博士石川源三氏等を相談役、或は顧問として艦船引揚會を組織して愈よ引揚作業に乘り出して來た。氏の說によれば

一般海底に沈沒した艦船に何程の財寶が藏されてゐるか、又は作業が果して可能であるか否か要する費用は何程であるか等を充分調査が出來ない中に

世間 に發表し、世人も亦海中作業の知識がないのに慾に眼が晴んで一口乘るといつたことが時たま失敗を招くことになる。そこで引揚事業を行ふにはまづ海中作業の知識を與へることが第一條件であるとして、發明の權威自身が乘り出して全國的に講演會を開き、まづ一般に充分の知識を吹き込み、然る後幾十般にのぼる海底の沈沒艦船の調査に着手、その中の可能性あるものに對して手をつけやうといふのである

氏は數日前來城し備前屋に投じ

來春　白木澤さん語る　埋めて置くのは惜しい

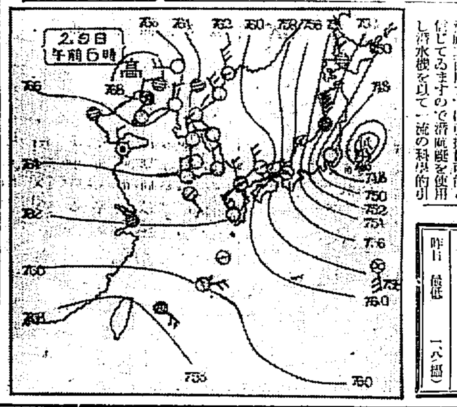
早々京城で深海作業に關する講演を開くことになつてゐる

何しろ海底に寶を埋めて置くのも惜しいことですから、何とかして引揚げることは國家的事業として結構なことです、しかしこれまでの引揚作業はあまり香ばしい成績をあげてゐませんので私は海中作業に關して既に二百數十種の發明研究を發げてゐますので自分の發明白木澤式の引揚げを實行して國家に奉仕したいと思つてゐます、私の計畫は海底二百尺までは引揚げ可能と信じてゐますので潜航艇を使用し潜水機を以て一流の科學的引

お正月旅行する人々に、せめてもの氣分でも味はつて貰ひたいと釜山棧橋食堂では曜日辨當の中味には特にお正月料理を使ひ一般の方に御立寄り下さる方々には一々例年の通りお屠蘇をお祝ひ致します

けふぞ日本晴れ　全く佳き日の奉祝日和だ

奉祝日和の二十九日正午一度一分で平年の零下四度と比較すれば五度二分のひらきがあり恐く稀れな溫さで風もなく、さすが日嗣皇子の御命名式の當日らしい日本晴だ、しかも、この暖さがしばらくつゞく模樣で例年の三寒がすつかりすんでしまつた形である（京城測候所談）



あすの天氣（29）

二十九日概況

高氣壓は南滿洲に七六八粍を示し、低氣壓は遠く太平洋に去り關東地方の沖合には副低氣壓がある、天氣は支那は曇り勝なるも、滿鮮は好晴となり、内地は北越及北海道にかけて曇、雨又は雪模様となつてゐる外、全部晴れてゐる、氣溫は昨朝よりも東側は一、二度、西側は四度乃至十度も下降した

あすの豫想

高氣壓は南東方に移動して半島を掩ふから明日中部は好晴南部北部は晴後曇する見込である

豫報	晴一時曇
今日　正午	一（二篇）
昨日　最低	一六（篇）

ビクターレコード
DANCE
今、流行のダンス・レコード
JA一一四七　パリー戀しや東も西も―ソルツ　騎手で樂しい時―行進曲　セラー・ニ・共管社團
JA一一九〇　シネマの踊り―ソルツ　ヨーヨーを探して頂戴―フォックストロット　セラー・ニ・共管社團
JA一一七六　TOHI-OHI-OHO―ジャバ　樂しき巴里―フォックストロット　セラー・ニ・共管社團
JA一一四六　ヴァレリー・トー―パソドーブル　アル・ガーリン・ステップ　ルクーデ・ビ・共管社團
JA一一四三　ダンスの木靴―タンゴ　快晴の日―ソルツ　ビ・ユ・ー・ロ
JA一一六二　今宵チプシーの唄―タンゴ　ウェーバー・ニ・共管社團
JA一一八八　お寺の鐘―フォックストロット　夢よりも麗し―リンスタップ　ハーブル・ミスュー・メーフェア管社
JA一一二五　セント・ルイズ・ブルース―フォックストロット　眞晶な荷役人足―フォクト　アームストロング・ニ共管社團
最寄のビクター特約店でお求め下さい

どこの菓子店にもあり五錢
ステキなお添へ物つきですよ
仲好し
子好し
おやつ好し
ボーイ菓子　スカウト
50

ポリドールレコード
キドリレコードの決定版大好評!
ポリドールマンス特選レコード發賣中
ニッポンをどり
歌手　東海林　渡辺
（レコード番號二〇〇一）

朝から晩まで高から明へ踊れ!!
昭和音頭　(BA)よしの町　二三吉明　(B)モダーンかつぼれ
希望の首途　松平晃唄　(B)微笑む春　關種子唄
Columbia
コロムビアレコード

キユーピーマヨネーズ
試驗準備のお子達に美味榮養のサラダ料理を

恒例福ばこ
お正月朝七時賣出
五圓・七圓
吃驚するねうち物
やまと

新年の御支度は三越
全店福引景品つき……愈々明三十日限
重詰用お煮〆賣出し　地階
れんこん、きんとん、人參、くわゐ、ぼうだら
煮豆、ごぼう、數の子、田作、昆布巻、蒲鉾等
お正月の重詰用お煮〆をいろいろ取揃へました
元日・二日・三日は休業・四日より初賣出し
三越　京城

ぢ專門　木下肛門療院
京城黄金町三丁目（本願寺通）
電本取次三二三六番

修繕は安くてうまい
竹内時計店
南大門通三丁目（南大門通）
電本四二一一番

喪中に付年末年始欠禮仕候
仁川府本町
綿糸布商　平野商店

喪中に付年賀缺禮仕候
全北扶安郡守　崔學洙

喪中欠禮
交河公普校　村上佐吉

喪中に付年賀欠禮
裡里　出口仁四郎

喪中に付き年末年頭の御挨拶御遠慮申上候
全羅南道光州本町
大江重春

喪中に付年末年始缺禮仕候
京城府黄金町一丁目
中西九一郎

喪中に付年末年始欠禮仕候
京城府齊藤町一丁目六九
柴田登里

父稻彦儀豫而病氣之處藥石無効廿八日午前十二時死去致候間此段御通知申上候
追而葬儀ハ明後三十日午後三時通市行列ヲ以テ尚明洞寺ニ於テ執行可致候
十二月廿八日
嗣子　平野恒彦
弟　河井稔太郎
親戚總代　河野誠一
鳥飼勘兵衛
吉田秀次郎
友人總代　土屋泰助
宮林泰司
中村欣平

新築落成開店披露
永年元町二丁目に於て御愛顧を蒙り居り候處店舗狹隘を來し候爲去月來より元町一丁目警察前に於て新築中の處漸く落成致し最新式撮影所に於て來る一月二日より愈々開店仕候間倍舊御引立の程奉希上候
敬白
追而開店自祝の爲め一月中は記念品贈呈可仕候
京城府元町一丁目一三三（龍山警察署前）
エム寫眞館
村田敏亮
電話六〇四番

新年御重詰の御用命は梅野家食堂へ
京城府光化門通一四四番
電話光化門五五六番

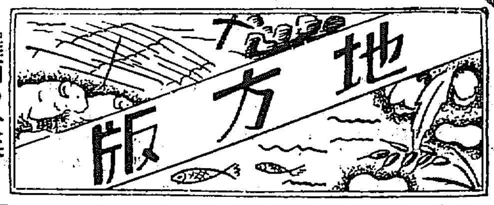
喪中に付き年末年始欠禮仕候
京城府西四軒町一丁目
岸の寮
黒川進

喪中に付き年末年始欠禮仕候
京城府南大門通三丁目
赤尾保商店京城出張所

喪中に付年末年始欠禮仕候
大阪市住吉區松崎町
赤尾仙次郎

歳末御贈答用品
結納　砂糖　鰹節　新巻鮭
澁谷商店
京城本町一丁目　電本一七七

宮内省御用達
菊正宗
京城　前田商店
釜山　本嘉納釜山支店



太陽の光いや増す 佳き日に満つ民草の感激

陸に港に歓聲の渦 仁川七萬府民限りなき悦福に酔ひ 歓喜に明けて歓喜に暮る

【仁川】皇太子殿下御命名式の二十九日はカラリと澄み渡つた日本晴れである、府、警察、在郷軍人分會、青年團、婦人會、修養團の諸團體は數發の煙火を合圖に午前九時仁川神社に續々と參集、嚴かな奉祝祭を執行、終つて永井仁川府尹の發聲で兩陛下並に皇太子殿下の萬歳を三唱、それより直ちに各町小學校を先頭に各小學校及女學校生徒が府廳から配布された國旗と小社旗を手に待つた四千五百名の可愛らしい小國民は聲高らかに奉祝行進歌を合唱し、心から今日の佳き日を御祝ひ申し上げて正午過ぎ閉會解散した、更に府、青年團、修養團、在郷軍人團を始め、府民有志は午後六時に再び仁川神社に參拝、こゝで奉祝提灯行列隊を組成し、府内を練り歩き、歓呼の波と化し、夜の仁川は全く火の海、歓呼の波と化した、これより先府主催の奉祝會は午前十一時から府公會堂で擧行、府民代表六百二十餘名が集まつて一君萬歳の奉祝宴を張り、又仁川港碇泊の九隻の汽船は滿艦飾を十字に張つて目出度い皇子の御生れを祝福申し上げた

市に繰出さうと午後四時半から公會堂で催された奉祝宴會の後がの大ホールにも溢れ出す人波で全市中の萬歳を三唱して解散、日没となれば府の花バスや提灯行列が繰出し躍る提灯は歓聲を乗せ更に奉祝行列は幾十數町に亘り全市を火の渦と化し街頭は躍る人波を縫ひ四方からあがる萬歳の叫びは懐しい暮の街に谺して夜がふけるに連れて府民の歓喜は遂にそのクライマックスに達し皇太子殿下の御安泰を壽ぎ奉つた

記念の消印 貯金も奨勵

【元山】郵便局では御命名式の二十九日から三日間皇太子殿下御降誕の記念スタンプを押捺することになつた尚同日を奉祝記念貯金デーとし式を擧行の豫定

全市旗の波うち 赤誠の火の海化す 滿街飾の街に歓聲の大凪

大邱府民の歓喜頂天に達す

【大邱特電】皇太子殿下御命名式の佳き日大邱府では廿九日午前七時五發の花火を曉の空に打ち揚げて奉祝の第一聲をあげ、響き渡る花火の音と共に全市は瞬間にして奉祝氣分に包まれた正午大邱神社に集合した大衆は國旗に祝奉燈に滿街飾の街を練り旗行列を催し全

慶びの記念 國旗臺寄附

【永同】永同邑内李相夏氏は皇太子殿下御降誕記念として御命名式當日永同公立普通學校に國旗掲揚臺を寄附した明年天長節を卜し竣工式

萬歳天地を震撼 奉祝歌高らかに行列行進 大田邑民躍り狂ふ

【大田】大田邑では午前十一時小學校々庭で官民合同の盛大な賀式を催し親王様の御成長を祈念し正午同校庭を繰出した學校生徒の行列は旗隊を先頭に市内をねり赤誠の海を現出したがこの日市街に一般市民の旗行列は蜿蜒數町にわたつて全市を旗で飾り更に午後六時驛前に集合し數千市民の提灯行列が驛前大奉祝塔をはじめ裝飾し國旗高く揃へ夜間間斷なく打ちあげる煙火は空高く躍り天地は萬歳の歓聲に包まれ奉祝氣分はいやが上に高潮した

羅南の大奉祝宴會

【羅南】午前十時から天明山羅南神社の奉祝祭を執行、午後一時社頭を繰出した旗行列は市中をねり廻り午後三時から小學校講堂で官民合同の大祝賀會を催し夜は間斷なく花火を打ち上げ終夜全市歓聲の渦をまき奉祝氣分は最高潮に達し軍隊でもそれぞれ奉祝式を擧行

光州の赤誠 全市に満つ

【光州】二十九日朝來國旗飜翻たるところ煙火また空高く舞ひ奉祝氣分横溢し午前十一時から光州神社に官民參列のもとに嚴かな奉祝祭を執行午後三時から小學校講堂で市民の奉祝宴を催し約千名出席して皇儲の萬歳を祝福し各學校生徒は正午から旗行列して市内をねり奉祝歌を高唱し夜に入るや煙火に彩られた赤誠の市民は二隊に分れ道廳の御兩陛下隊は府廳前にて三隊合流して本町通りを經て道廳前に到り萬歳を三唱して解散赤心こめ佳き日を壽ぐ

清津でも旗行列 全市歓喜の渦

【清津】午前十一時先づ清津神社で奉告祭を執行正午から公會堂で奉祝宴を張り、二時から學校生徒一般府民の旗行列は全市を擧げて歓喜に躍り晝から夜にかけて打ちあげられる花火は天空に亂れ飛び彌が上に奉祝氣分を煽つた

永登浦も湧き返る

【永登浦】邑では朝來花火を打ちあげ奉祝氣分を高潮し午前十一時を期して小學校講堂で官民の奉祝宴を催し正午から驛前奉祝塔下に集合して學校生徒を先頭に蜿蜒數町に及び旗行列を催して行進歓高らかに市内を練り奉祝の赤誠を披瀝し各官署學校でもそれぞれ奉祝式を擧行

平壌府民も悦福に酔ふ

【平壌】午前十一時平壌神社で奉告祭を正午から道府商工會議所主催の公會堂に於ける府民大奉祝會を開催同時刻を期して各官署軍隊學校ではそれぞれ奉祝式を擧行旗行列を催し赤誠を披瀝し限りなき悦福に陶醉した

奉祝に湧立つ仁川 本町通りを練り歩く行列の列（上）と仁川神社における府民の奉祝式

雪化粧して美しき山は招く 積つたり元山に一尺二寸 山の魅惑は増す

【元山】二十七日夜からちらちらつき出した雪は二十八日正午過ぎまで降り續いて三三八センチ一尺一寸八分ばかり積んだ昨日の降雪がまだ消えぬ上にこの雪だ、そこに各學校も冬休みとなり諸官廳も御用納めとなつたのだ、招く招く銀嶺が招く招く、魅惑に馳せ參じたスキーヤー大小二千餘町内の銀盤は少年少女の占據で塗りつぶされ年が明ぶ主婦が正月用品を投げ出す中腹も滑む山手のスロープには男女こき交ぜての賑ひだ、われこそはのつはものは新豊里スキー場で亂舞・跳躍、かくて銀嶺地の處女雪に一礎を印して滑降、ジャンプの壮快味を謳歌するウインタースポーツの華、スキーは愈よ本格的となつて来た

全大邱の學園赤化を企つ 退校された生徒が母校内に喰ひ入る

【大邱】全大邱の學園に赤化の魔手を延ばさんとしてゐた一味を大邱警察が探知し目下府内鳳山町朴泰歡（一九）公立〇〇學校第四年生李用濟外數名を取調べ中である、内容は極秘に附してゐるが仄聞する所によれば朴は昨年同校を退學されてから東京に行き赤色思想に染まり歸鮮中同志と連絡をとり母校の赤化を企ててゐたもので昨年夏は同校内に秘密結社赤色讀書會を組織して或程度に策動の表面運動を起し全大邱學園の赤化を圖つたものである

突つ張つた慾の皮 二千八百圓も失ふ 偽富豪が偽札を使つて 三人共謀で捲上ぐ

【大田】廿二日午前十一頃全北益山郡春浦面大場里酒造業鄭俊煥方に二名の男が訪れ「今京城の富豪が邦米をなすべく現金八千圓を持つて群山に来てゐるが三人共謀して賭博でその金をまき上げてやらう」と甘言を弄して鄭に二千八百圓の現金を出させ廿三日夜群山府明治通り金城玉方に同伴し擬て共謀の偽富豪に引き合せた上花札を使用して賭博を開帳し偽札を眞物らしく見せて一回三百圓乃至六百圓をかけて翌日まで遂に二千八百圓を巧に騙かして逃走したことが判り目下その跡を犯人捜査中

元山府會

【元山】府では二十八日午後三時から臨時府會を開き皇太子殿下御降誕奉祝の記念事業に關する追加豫算案を附議滿場一致で原案を可決した

平野稲彦氏

【仁川】綿糸布商として仁川に重きをなす平野稲彦氏は腸チフスのため本月五日京城道立仁川醫院に入院加療中のところ急性肺炎を併發去る廿八日午前十一時逝去した、享年四十八、葬儀は卅日午後三時途中行列を廢し仁川明照寺で執行、氏は山口縣人弱冠にして渡鮮と同時に仁川本町綿糸布貿易商に入り以來孜々として勤續すること十四年大正十三年秋獨立現在のところに開業今日に至る、氏は人格圓滿公共に盡すところが多かつた、ヨシ子夫人との間には二男四女がある

人

▲松田新作氏（江界第一守備隊長）廿七日出張から歸任
▲山内美雄氏（慶南衛生課長）廿七日内地へ
▲藤原俊丸男 廿八日朝咸興通過歸東

明暗旗本男（95）

大島多慶夫 作
（畫）寺田英三

謀反の末路（三）

降りつのる雨のなかを、十艘ばかりの船の艫をそろへて、えつさえつさと漕ぎ寄せてくる得體の知れない人數。波のしぶきと煙る雨のとしないが、船のなかの人々の姿が判然衆で、誰であるの、土岐春之助が「浮渦」であるの、旗印が「浮渦」の軍勢であると明示をしたのであつた。

「弾のつきるまで撃て、しかし無駄に弾をつかふなよ。うんと引寄せて置いて、一齊に撃て」

と、右へ走り左へ駈けて、聲を嗄らしながら指揮をしてゐる。

かうした飛道具を多數に備へて置いたことは攻め寄せたもの共には意外であつた。バタリバタリと倒されるのを見たので、魚鱗の陣形をもつて進んで来た敵の艦艇が稍みだれて来た。

渡け大洋から押してくる潮の流れと、入江から流れ出してゆく底の潮と打突かると、それを風が煽るので、舟が重なり合ふやうに起伏する。そして、可なり大きな船ばかりであるが、まるで浮き沈みしてゐるやうに翻弄されてゐる。

「敵は辟易してゐるぞ。この機を外さずに撃て」

と、春之助は號令しド、ド、ドーンと打放す銃の音響は猛烈を極めてゐる。

船首に立つて舳の先に突立つた、小具足を身につけて、薄い萌黄色の陣羽織を羽織つてゐるのが

「畜生め。喉りやがつた」

バタリと舞倒された。

と、倒れながら叫んだのは、同船組のなかでも最も精悍な長坂甫助九郎であつた。

その船の采配を揮つてゐるのは加賀爪甲斐であつた。長坂が倒されたのを見ると、這ふやうにして舳の方へ寄つた。

「長坂、撃られたか。しつかりしろよ。何處をやられたんだ」

「こゝだ。こゝだ」

と、長坂は自分の鎧を叩いた。

加賀爪甲斐は引摺るやうにして長坂を船の底中へつれて行つて介抱を仕初めた。

中央に位置してゐた船。そこには「浮渦」の紋の旗がバタバタと烈しい音をたてゝ飜つてゐる、十郎左衛門の指揮してゐる先船なのであつた。

十郎左衛門も鎧下を着込んで、胴にだけ小具足をつけてゐた。その傍には松平五左衛門が控へてゐた。と、弾丸が霰のやうに飛んで来ては、敵の檣へ落ちる。陣屋には叫れてゐるし、海上である のと飛道具を持つてゐる敵に對しては何れも怖気を起して首をちゞめてゐる。

と、十郎左衛門は味方の負傷者が、刻々にましてくるのを見て呟いた。

「今日は駄目だ」

と、意外さうに日走つた。

「松平。今日は無駄骨を折るよりも引揚げやうか。もう宗師弟の本陣へつき止めた以上は、何か陣を運んで包圍すれば大丈夫だや」

「殘念だが、今日は引揚げた方が好い」

と五左衛門も無念さうに合槌を打つた。

引揚げの法螺の音が波の音と雨音の交錯してゐる間に物の怪のやうにひゞいた。

待つてゐたとばかりに、各船の舳頭ともは艫を翻し始めたのである。

春之助に代つて、物見の船に上つて眺めてゐた猿西猿蔵は、浮渦の軍船が後ろに引揚げてゆくのを見て。

「おゝ敵は退いた。あの見苦しい態を見ろ。笑止千萬な」

と高い聲で喚きながら笑つた。

わーツと叫ぶ味方の銃の聲が雨の中の重い空氣を搖がした。

JODK けふの番組

三十日（土）

皇太子殿下御誕生奉祝記念（第二日）

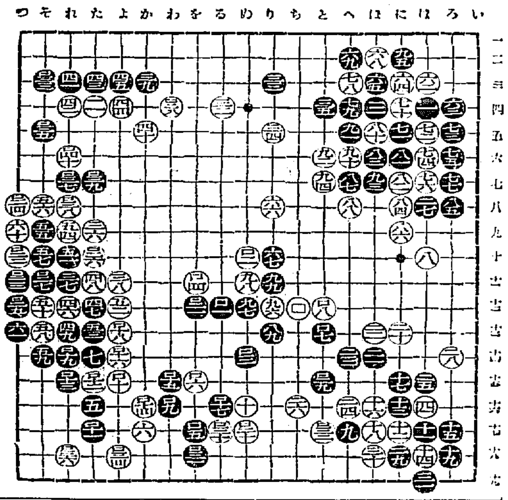
正午 時報、今日のプログラム發表
午後〇時五分 氣象通報
同〇時三〇分 ニュース
同一時五〇分 琵琶 菊の露 合原旭天
同二時二〇分 映畫物語 天一坊と伊賀之亮 五月信夫 山本信三郎 管絃樂 奏
同六時（東）子供の時間
獨唱 一、イ、皇子生れまし給ひぬ 野口雨情詞、平岡均之作曲 ロ、日の丸の旗 文部省唱歌 ハ、おうちの赤ちやん 原島好文作詞、河村直則作曲 河村順子
二、イ、皇子さま 久保田宵二作詞、佐々木すぐる作曲 ロ、お誕生お誕生 北原白秋作詞、山田耕筰作曲 ハ、日の丸萬歳 久保田宵二作詞、佐々木すぐる作曲 大川澄子
三、イ、可愛いゝゝ皇子さま 西條八十作詞、中山晋平作曲 ロ、通りやんせ 本居長世編曲 ハ、ゆりかごの歌 北原白秋作詞、草川信作曲 本多信子
伴奏 金の鈴オーケストラ
同六時二五分（東）講演 皇太子殿下の御誕生を壽ぎ奉りて 島津治子
同七時 ニュース、天氣豫報
同七時三〇分（東）清元 月花茲友鳥（山姥） 淨瑠璃 清元延壽太夫 同 清元榮壽太夫 同 清元志壽太夫 三味線 清元榮次郎 同 清元正壽郎 上調子 清元壽之輔
同八時二〇分（東）講演 國民の歡聲 陸軍少將 鈴田榮吉
同八時五〇分（東）皇太子殿下御誕生奉祝陸海軍々樂隊合同大演奏 合同演奏 陸軍戸山學校軍樂隊 海軍々樂隊
（一）（イ）行進曲「軍艦」海軍々樂隊作曲（ロ）序曲「黄金の冠」カーン作曲（ハ）圓舞曲「櫻」陸軍戸山學校軍樂隊作曲 指揮 陸軍樂長 岡田國一
（二）（イ）前奏曲「奉祝調」（ロ）序曲「祖國の歡聲」海軍々樂隊作曲（ハ）君が代（合唱） 指揮 海軍樂長 内藤清五
同九時三〇分（東）時報、明日のプログラム發表

第二放送

午後〇時〇五分 俗謡 鄭錄紅
同一時三〇分 レコード音樂
同六時 童謡 沈宜麟
同六時二五分 滿洲語講座（經濟） 張志映
同七時三〇分 春の夕 愛の歌 朴綠珠 李翠香
同八時 謡曲歌
同八時三〇分 獄中歌 金如鵑
同九時 御使用道 丁正烈

日本棋院 昇段大手合戰譜［六］

三段 加藤七三一
先 初段 竹中幸太郎



（分）

黒	位置	分	白	位置	分
●ロ一	ろ十三		○ロ二	ぬ十	4
●ロ三	ぬ十四	34	○ロ四	を十三	4
●ロ五	を十三	4	○ロ六	を十五	29
●ロ七	と十三	3	○ロ八	と十三	4
●ロ九	わ十六	2	○ロ十	よ十六	9
●ロ十一	た十七	6	○ロ十二	た十五	
●ロ十三	れ十三	1	○ロ十四	か十六	
●ロ十五	わ十四		○ロ十六	よ十四	3
●ロ十七	る十六	4	○ロ十八	よ十三	
●ロ十九	れ十四		○ロ二十	ぬ十七	
●ロ二十一	を十三	2	○ロ二十二	つ十	10
●ロ二十三	つ十一		○ロ二十四	つ八	
●ロ二十五	つ十三		○ロ二十六	た十	
●ロ二十七	そ十二		○ロ二十八	わ四	7
●ロ二十九	と十五		○ロ三十	る十五	14
●ロ三十一	を十六	1	○ロ三十二	と十七	4
●ロ三十三	そ十三	20	○ロ三十四	よ十六	4
●ロ三十五	そ五		○ロ三十六	れ十六	
●ロ三十七	れ七	8	○ロ三十八	れ八	
●ロ三十九	た七		○ロ四十	れ六	19

一分以内は切捨
所要時間（白…四時三五分 黒…四時一二分）
（制限時間各七時間）

對局者の言葉

（黒）ロ三など、形になづんでヌルかつたのでせうか
（白）ロ四を打つことができては望みをもつてゐました
（黒）ロ七は打ちたくない手ですが怠ると白『と十四』とツケられ切斷されるおそれがあります
（黒）白ロ十八まで、巧みに逃ばれました
（黒）ロ二一を省略すると白に『る十五』と打たれてこまります

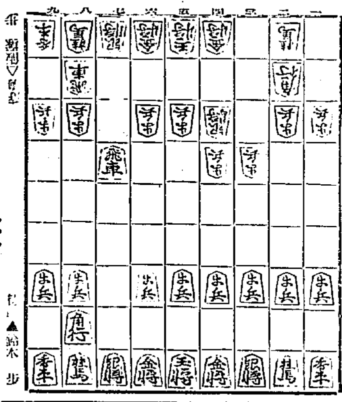
（白）『る十五』黒『わ十四』は白『を十三』があるし、白『る十五』黒『を十四』も白『る十四』と出られて結局黒のロ五以下のつながりやうがありません
（白）ロ二八は怠ると今度は黒にロ三八のキリを見て『わ五』とツケられてもこゝは殴られることになりさうです
（黒）ロ三三は白『そ四』を期しつゞいて黒『つ四』白『つ五』黒『つ三』白ロ三五と先手へネツギを打つゝもりでしたが――
（白）ロ三四、ロ三六は黒のいふことをきくのが少し忌々しいので一寸こんな變化を打つてみました

戰の跡

●黒ロ三では『り十五』にノゾキ白を『り十六』とツガしめてからロ四にコスムなり、或は『を十』にケイマするなりして更も角も白模様に進出して行きたかつた、さきに八九の結息があり、今またロ三の強瓶があつて白ロ四をゆるすに至り、局面は稍や白に多望となつたのを否定し得ないロ白ロ十八までのシメツケを利かされたのも必然とは言へ黒の忍びない所であつた、このシメツケの利く具合に、はじめ白五八と一目出ておいた効果があらはれてゐる――ロ白ロ二八についての對局者のことばにある黒ロ三八のキリ云々は白五六以下のダメがつまつてゐるからである、この點、黒ロ二三にて單にロ二五に打ち白ロ二六黒ロ二七となるよりも譜における黒ロ二三と白ロ二四との交換はある方がまさつてゐる〇白ロ三四以降の變化については碁にはかういふ行き方も往々成立することを云ふに留めておかう

將棋新手合（一）

於東京市日本橋區蠣殻町二ノ七 潜吕木將棋所
左香落 六段△阪田勘一郎（東京） 四段▲鈴木勇一（東京）
（圖は七四同飛迄の局面）



先 ▲鈴木 歩
後 新埜▽
▲七六歩 △四四歩 ▲七五歩 △四二銀 ▲七八飛
△三四歩 ▲七四歩 △同 歩 ▲同 飛 △七二飛 ▲同飛成
△四三銀 ▲五五角 △七三歩 ▲一六歩
△同 銀

（潜吕木七段講評）（下手）七五歩と突いて、力戰手段を採つたのは上手に「三四銀留め四、飛車陣法」を指されるのを嫌つたのであらうが面白くない、矢張り定法に從つて二六歩と指す處である。
（上手）四銀と上るのは、敵の挑戰に對し強く對抗する方針である。（下手）七四歩と直に交換を挑むのは面白くない、蓋は三八銀と上つて王將の陣を先にする處である。
（上手）七二飛と振つて交換を挑むのは限定行動であるが、頗る過激の手法である。
（下手）五五角の進出は、後手の味があるから面白くない、蓋は王將の圍を先に圍る處である。

演藝案内

大正館 松竹蒲田特作 松竹キネマ提供 大衆娯樂名畫 十二月卅一日より新春特別公開 松竹・京都・下加茂特作 時代映畫 原作 白井喬二 主演 林長二郎 高田浩吉 **松葉かんざし** 松竹キネマ提供 文藝映畫 **孔雀船** 主演 田中絹代 坂本武 飯田蝶子

喜樂館 日活特作 **忠臣藏** 大河内傳次郎 主演 **天之卷 地之卷 人之卷** 全十二卷 オール・スター・キャスト 古今の名優所演の味を遺憾なく網羅

中央館 新興キネマ特別封切 **後の生さぬ仲** 全十卷 監督 曾根千晴 主演 鈴木傳明 岡田嘉子 W・E オール・トーキー **巴里祭** 全十卷 ルネ・クレール氏 第四回作品 主演 アナベラ ジョルジュ・リゴー

朝日座 新派 **立春大吉** 松竹蒲田 主演 吉川滿子 小林十九二 **樋口次郎** **春日新九郎** **小川隆** 新派 **滿洲行進曲** **上海洲長勝差** 近藤勇 **本城總攻撃** 時代劇 **鼠小僧次郎吉**

京城演藝館 京山小圓嬢と其一行 新春初頭を飾る超弩級浪曲界の王者

京龍館 十二月三十一日ゟ新春特別興行 本年度掉尾の最高超珍品 寶塚キネマ提供 **天狗騷動記** 全十卷 **爆彈亂れ飛ぶ** **空中脱線一萬哩**

東亞倶樂部 大衆料金 フォックス超特作 **ヤングアメリカ** **陽炎の春** **悪魔の曲藝團** **浪人の行く道** **輝きの朝**

浪花館 十二月三十一日ゟ 二大名畫 **ギャングを追ふ女** フォックス超特作 **鐵窓の女** ユナイト超特作 **女給時代** ユナイト超々特作發聲日本版

胃腸榮養　錠劑 わかもと

虚弱乳幼兒の榮養と治療に

「錠劑わかもと」は斯く作用す

腺病質の子供の抵抗力を強める

人間の身體の中には淋巴腺といつて、侵入する黴菌を喰止める働きをする器官があるが、その働きが弱いと、そこに黴菌が繁殖して淋巴腺が腫れ、黴菌は更に他の部分に侵入することになる。腺病の初期に、肺門淋巴腺腫脹といふ名がつけられ、頸部淋巴腺が結核菌に犯されると、ルイレキとなる如き、その一例である。腺病質の子供といふのは、この淋巴腺が黴菌に犯され易い子供のことである。

その身體の特徴を云へば

痩せてゐて、頸が細く、顔色蒼白く、よく風邪をひく

まづこれが大體の輪廓である。學者によると、すでに結核菌に犯されて居り、腺病は昔日の問題だとされるが、必ずしもさうとばかり非難する必要はない。身體の抵抗力をつける方法を講じて行くなら、漸次體質も改善され、強健な身體をもつた青年となることが出來る。

それには常用薬として「錠劑わかもと」がもつとも適當である。これはベーフエといふ、各種の發酵素や酵素などを含んだ貴重な微生物を培養して固形化したもので、化學合成の榮養劑や强壮劑には見られぬ特徴をもつてゐる。

まづ第一に、成長發育にはなくてはならないヴイタミンBがもつとも豊富で、肝油にあると同じAやDもあり、その外、リヂン、ヒスチヂンなどの成長促進のアミノ酸等、直接榮養素を補給する性質もあるばかりでなく、各種酵素の働きによつて、胃腸をはじめ全身の機能を活潑にし、黴菌を喰殺す白血球を増殖するなどの効果もあるから、これを常用する中には、食慾がさかんとなり、身體もふとつて來て、元氣よくなり、風邪も次第にひかなくなつて、腺病質の子供の身體の特徴が消えてゆく。

胃腸の弱い子供を丈夫にする

胃腸の弱い子供は相當大きくなつてもゐるが、何方かといふと生れたての赤ちやんから離乳期までに多いので、乳兒死亡の原因の大半が、胃腸によるのに見てもこの消息が覗はれる。

赤ん坊はすべての器官がさうであるやうに、胃腸もまた脆弱で、それに旺盛な發育の原動力として多量の榮養を吸收しなくてはならないから、過重の負擔が課されてある。やゝもすると、その機能が衰へされがちなのも當然である。健康な赤ん坊の便は、黄色で、ネツトリとした軟かさを持ち、一種の芳香があり、日に二三回までの回數であるが、胃腸が害はれると、まづ

青菜を絞つたやうな綠便や白いブツブツのある顆粒便

となり、或は泡沫や粘液をまじへ、水分多く、甚だしきは外見小水と異ならなくなることもある。

乳兒の胃腸が害されると、てきめんに發育がおくれ、體重、身長すべて増加しないのみならず、這ふこと、立つこと、歩くこと、齒の發生、みな遅れて來、精神の發達もまたおくれる。この影響は相當年長にまで及ぶもので、就學年齢になつて、低能や、身體矮小の兒童は、乳兒期の胃腸障碍から發してゐるものが尠くない。

「錠劑わかもと」は、かゝる乳兒の胃腸障碍に對して、最も推奨される。強力な消化素である上に、衰弱してゐる機能を自力的に再び立たせる効果があるので、効果が一時的でなく、乳兒のやうな機能の全般的恢復を必要とする場合には極めて適當である。

なほ乳兒胃腸障碍の一種である便秘に對しても、本劑は副作用なき便通作用あることを附加へておきたい。

御子達の喜ぶ御年玉　壹萬人當選の大懸賞

十二月二十五日より　全國薬店にて　一齊進呈

坊ちやん、孃ちやん方の新年のお慰みに、やさしい彩色繪の大懸賞を募集いたします。

用紙は十二月二十五日から、全國の薬店で「錠劑わかもと」お買上の方に洩れなく進呈いたしますから

審査は年齢に應じてしますからお小さい方でもお出し下さい。

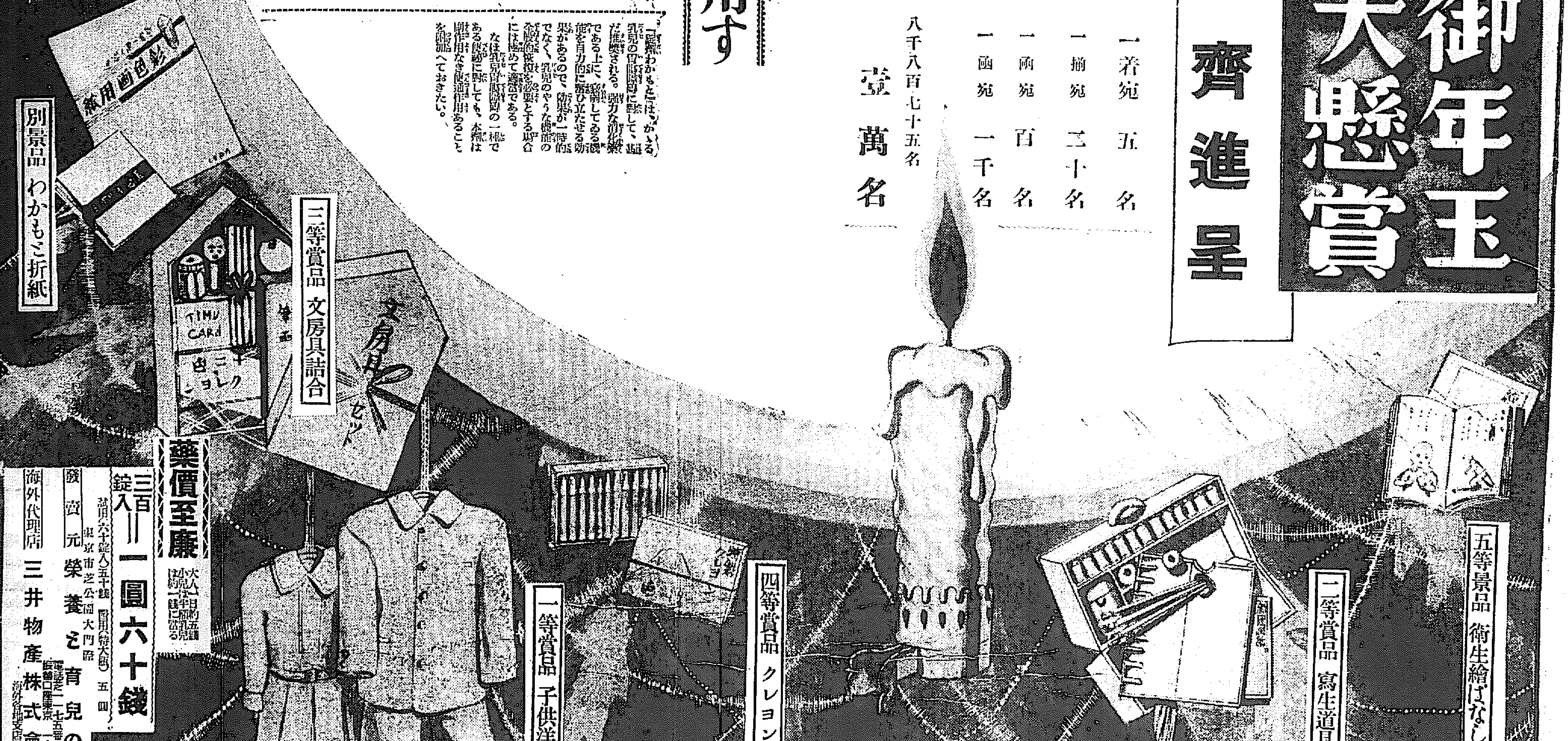
應募の仕方の詳しいことは、用紙の包紙に書いてあります。

おまけに美しい五色折紙もお添してあります。

(賞品)

一等	子供洋服	一着宛	五名
二等	寫生道具	一揃宛	二十名
三等	文房具詰合	一函宛	百名
四等	特製クレヨン	一函宛	一千名
五等	こども衛生繪ばなし	一冊宛	八千八百七十五名

以上入賞總計　壹萬名



薬價至廉

三百錠入　一圓六十錢　(大人一日約五錢　小兒半錢乳兒は約一錢に當る)

試用(六十錠入)五十錢　徳用(特大瓶)五圓

發賣元　東京市芝公園大門際　榮養と育兒の會　電話芝二七五番外六本　振替口座東京一七〇〇〇番

海外代理店　三井物産株式會社　海外各地支店及出張所